

① 団体の組織概要

- 代表者名 榎本 幸実
- 団体の所在地 〒770-8055
徳島市山城町東山傍示5番地281
(新弘測量設計株式会社 内)
日本ビオトープ管理士会徳島支部事務局
- 設立時期 平成17年3月9日
- 活動区分
 - 環境学習・環境教育の実施
 - 自然環境保全
- 団体の活動目的 この会は、徳島県民や各種団体及び関係行政機関等に対して、自然生態系の保護・保全・復元・再生・活用・維持等の支援に関する事業を行い、自然と共存する美しい県土づくりに貢献し、もって持続可能な社会の発展に寄与することを目的とする。(県土保全と人材育成)
- 活動頻度 依頼に応じてその都度対応
- 主な活動場所 徳島県内
- 会員数 24人（平成23年10月1日現在）
- 会費 正会員：年5,000円、準会員：年2,000円
賛助会員：年10,000円
- 入会方法 申込書提出：ホームページからダウンロードまたは電子メールあるいは電話をいただければ、定款他資料(PDF)と申込書(エクセル)を配信します。
- ホームページアドレス <http://biotopetokushima.yu-yake.com>
- 連絡先
 - ◇連絡担当者 榎本 幸実
 - ◇電話番号 090-1002-2818
 - ◇FAX 番号 088-623-7720
 - ◇メールアドレス kanv@nifty.com

② 主な活動紹介

●活動状況

【地域との連携】

地域の環境保全団体との交流や連携に努め、ビオトープ活動の情報交換とともに相互の研鑽と生物多様性保全の啓発普及に努めています。

環境問題への関心の高まりから、様々な主体による環境保全活動が活発化しています。しかし、個々の思いや恣意的判断あるいは善意の誤解による活動も少なくありません。

このことから、地域におけるビオトープ活動の情報収集に努め、様々な主体との交流や連携によって相互に活動の充実を図り、人のネットワークとビオトープ・ネットワークの普及に努めます。



地域の自然や文化を生かしたビオトープ活動において、生きものとのふれあいを通じた環境教育を支援 《ビオトープ気延の里》

【企業との連携】

県内企業のビオトープ活動において、環境経営やCSR活動の充実を支援します。

企業経営の理念や方針の下に、工場の整備と運営におけるテーマの具現化を図り、その利活用を通して地域へと展開されることを期待しています。

企業と消費者の環境コミュニケーションはもとより、職員とその家族、地域の学校や自治体との連携によって地域の環境保全活動へと展開することが期待されます。

このことから、計画段階から関わるのが重要であり、整備後の活用プログラムの策定や各主体間のコーディネート役として支援できるような体制づくりに努めます。



工場敷地内に整備された人工ビオトープの改良計画において、モデルとなる地域の環境調査と計画検討を支援 《大塚製薬板野工場》

【行政との連携】

ビオトープの保全と創出の推進を目的とした「徳島県ビオトープ・アドバイザー派遣制度」において、ビオトープの計画や整備をはじめ、活用や維持管理など、ビオトープ活動の支援と生物多様性保全の啓発普及に努めています。

地域や学校、事業所など、多様な主体による環境保全活動や事業において、生物多様性や生態系保全の視点から、ビオトープの正しい理解と身近な自然の保護・保全の普及啓発が求められます。

このことから、ビオトープの保全や創出の活動を環境教育や自然体験学習の機会と捉え、その推進と質的向上に努めます。



校内に整備された学校ビオトープ活動において生きもの調べと維持管理の体験を兼ねた活動を支援 《美馬市岩倉小学校》

●定期刊行物等

ビオトープ・ニュース 年 12 回

●メッセージ、PR

ビオトープ管理士は、(財)日本生態系協会認定によって平成 9 年度に制度化された民間資格です。日本ビオトープ管理士会は、その資格取得者の有志によって平成 10 年度に発足し、平成 16 年 12 月に地方支部の運用が開始され、本部とのゆるやかな連携を形づくり、各々が独自の活動を行うこととしています。徳島支部へは管理士でない方の入会も大歓迎です。